

別冊ベストカー

道路を走ることが許された、大迫力の巨大なクレーン、
ホイールローダ、高所作業車、モーターグレーダ……。

大型特殊車両

ベストカー：編 講談社ビーシー 講談社 定価 2000 円 (税込)

走ってデカイ!! 停まって高い!!

大特車の雄 オール テレーンクレーン

オペレーターを乗せて地上40mまで伸びる、伸びる!!

高所作業車のバケットは
職人の仕事場

自重をも武器にするグラウンド業務

ロード系車両の
パフォーマンス

走りの顔と作業時の顔……

高密度のパッケージング車両から
大展開するトランスフォームぶりを見る!!

第1号機誕生はなんと100年以上も昔……
クレーン車の歴史は驚きの連続だ!!

除雪、環境整備も大特車の役目。

雪を蹴散らす
ロータリ除雪車の威力!!

これが道路を
走っていたとは
信じられない……

現場で発揮される
力ワザの超能力!!

0、9、8ナンバーの“働く自動車”完全ガイド

LTM1360N

◎ユーザー=ハマダ

2分割!
キャブ付きのままで
公道走行OK!!



最大吊上げ荷重は360t。ブームは5段式で長さは15~60m。最大地上揚程は59mとなる



キャリヤキャブは2人乗りで左ハンドル。速度計以外のメータは液晶モニタで、正面にはタコメータ・エラー情報など、右手には前進・後退切り換え、サス調整などが表示される



キャリヤは6軸12輪。最高出力は598hp。サスは全軸ハイドロニューマチックを採用

自らウインチの分解作業を行なう。L11CCON(リーコン)過負荷防止計、過巻防止装置など安全装置も充実している



軸・第6軸は固定となっている。これよりひと回り小さい550t吊りのオールテレリンクレーンがLTM1550N。日本では日運建業、東京重機などが保有している。キャリヤは8軸16輪で、第5軸・第6軸を除く6軸で操舵する。リーヘル社ではエンジンにも自製のエンジンで駆動される。キャリヤの駆動は第1軸・第2軸と第4軸・第5軸の8輪駆動。クレーンの操作はジョイスティックタイプのレバーにより、各種安全装置の装備で、これだけの巨大機にもかかわらず安全かつ確実な作業が可能だ。LTM1550Nより、さらにひと回り小さい360t吊りがLTM1360N。6軸12輪で第1軸と第5軸・第6軸を常時駆動。大きな駆動力が必要な場合、第3軸を追加駆動する。操舵は第4軸のみ固定の5軸ステア。第5軸・第6軸は独立して操作でき、カニ走行も可能となっている。これらを製造したリーヘル社はド

アウトリガは最大8500mmまで張り出す。オペレータキャブはこのようなキャリヤから出た状態でクレーン操作を行なう



イツに本社がある建機メーカー。会社のスタートは第二次世界大戦後の49年で、敗戦で荒廃したドイツ復興の担い手として、様々な建機を送り出した。現在では建機のほかに、冷蔵庫やワインキャビネットなども製造。この分野でも世界的メーカーとなっている。同社のオールテレリンクレーン、LTMシリーズは最大吊上げ荷重35tのLTM1030・12・1から、なんと1200t吊りという超巨大機LTM11200・9・1まで19機種をラインナップ。現在、この中にはLTM1800NXは含まれておらず、500t吊りのLTM1500・8・1とLTM11200・9・1の間は大きく開いたままとなっている。また、ラチスブームを備えたオールテレリンクレーン、LG1750もある。ちなみにLTM11200・9・1は現在のところ油圧式クレーンで世界最大。8段式のブームの長さ100mも、テレスコピックブームとしては最長となっている。

驚異の吊り上げ能力を発揮する
ALL TERRAIN CRANE

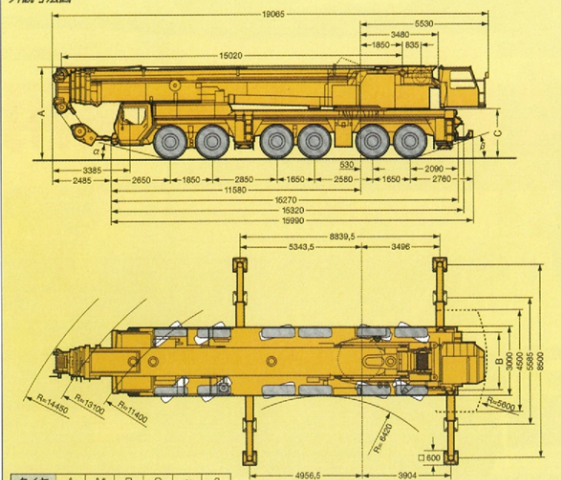


駆動は第1軸、第5軸、第6軸が常時駆動。大きな駆動力が必要なとき第3軸も追加。操舵は第4軸を除く5軸で、第5・第6軸は独立操作でき、逆/同位相に切り換えが可能

オペレータキャブには液晶モニタが並ぶ。作業半径、重量、ブーム長等の情報は中央のモニタに表示される。左のモニタにはガイシステム能力表を表示。左手のレバーは旋回、第2・第3ウインチ操作。その下に旋回のロック・フリー切り換えスイッチがある。右手はブーム起伏、第1ウインチ操作

外形寸法図 (単位: mm)

外形寸法図



タイプ	A	A*	B	C	α	β
14.00 R25	3950	3800	2612	2015	15°	17°
16.00 R25	4000	3850	2552	2065	17°	19°

*サスペンションを150mm下げた状態

本機は、公道を走行する場合、道路運送車両法を遵守し走行してください。



LTM1360Nを保有する株式会社ハマダは、道路が本社。プラントの建設から管理までのトータルケアを主軸に、様々な事業を展開する。その中でシステムの流れを担当するのが運輸部。オールテレーンクレーン2台、ラフテレーンクレーン11台他、様々な機材を保有している

